

平成 30年 10月 19日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市萩原町串作2015

団体名 劇団 織音座

代表者 職・氏名 坪内 拓也

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	劇団 織音座 親子観劇会		
2 事業の分野 <small>(主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。)</small>	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	146,000		円

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	219,000円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	219,000円
当該事業によって得られる収入 (c)	0円
支援金交付申請額※ 上限: 「(b) × 2 / 3」 または 「(a) - (c)」 のいずれか高くない方	146,000円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。



一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	劇団 織音座		
市内事務所の所在地	〒491-0376 一宮市萩原町串作2015		
代表者 職・氏名	代表 坪内拓也		
設 立 年 月	平成 2年	1 2月	構成員の人数 30人
U R L	http:// www.gekidan-orionza.jp		
連 絡 先 ※この申請に関する 問合せに対応できる方	(担当者氏名) 武田美由紀		
	電 話	090-8133-3256	F A X 0586-67-1276
	E-mail	orionza89mii@gmail.com	
団 体 の 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・一般、保育園及び小学校等に向けた演劇の公演や、演劇を活用したワークショップ等、地域に根ざした芸術活動を行うことにより、地域住民との交流をはかり、もって地域文化の振興に資すること。 ・市の青年講座の趣旨を尊重し、地域の青年一般を対象に会員を募り、自己表現の場を共有することで、良好なコミュニケーションスキルを身につける人材を育成する。 		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・一宮市内における、市民全般を対象とした自主企画公演 ・保育園及び小学校等、団体からの依頼に対する出張公演 ・その他、この会の目的の達成に必要な事業 		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・自主公演 (平成3年～平成30年)、小信中島学区子ども会クリスマス会依頼公演 計36公演 ・尾西市教育委員会主催 手創りの演劇講座 講師助手 ・えんげきだいすき! (市内の児童対象の演劇ワークショップ) 開催 ・出張公演 (平成19年～) 小学校 市内及保育園、豊明市内幼稚園45周年記念式典依頼公演等。 ・一宮市生涯学習課幼児期家庭教育セミナー講師 (親子観劇会) ・一宮ケーブルテレビ制作「みんなの民話」ナレーション ・親子観劇会 (市内の親子対象の自主公演) 		
今年度予算額	1000,000円	昨年度決算額	972,646円
条例第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称:) ・ 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>劇団 織音座</p>
<p>事業の名称</p>	<p>劇団 織音座 親子観劇会</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） 平成31年10月1日 ～ 平成32年3月10日</p> <p>(2) 実施場所 木曾川文化会館 尾西信金ホール 練習室</p> <p>(3) 受益対象者 地域在住市民全般</p> <p>(4) 実施体制 公演に関し、上演作品の芸術性を統括する演出と、公演運営を統括する舞台監督を置く。また、市が主催した際の演劇講座の講師、演劇講座の卒業生など、外部にも助言を求める。</p> <p>(5) 具体的な内容 公演は、H32年2月頃を予定する。小さなお子様と一緒に『近場で気軽に本格的なお芝居を観れる！』をモットーに、上演時間は約1時間15分程度の親子向け観劇会を予定している。会場も巻き込んだ演出で、テレビや映画にはない、舞台ならではの創り手と受け手の時間と空間の一体感を楽しんでもらう。昨今は外注製作の多い大道具、衣装などのスタッフもすべて団員が担当し、団員それぞれが役者およびスタッフの役割を担う。10代から60代まで幅広い世代で年齢に関係なく対等に意見交換ができるのも魅力であり、週4回の稽古を重ね舞台を創り上げる。</p>
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>昨年度の一般向けの公演後のアンケートからも「小さなお子様を連れて観に来れる芝居もしてほしい。」「歌や踊りの多いお芝居をやしてほしい。子供にみせたい。」「織音座に何歳から入団できますか？」「大人向けのお芝居で子供には難しいので子供もわかるお芝居を希望します。」等の意見からも、目指す劇団のひとつである、『地元で質の良い芝居を幅広い世代に提供する』を継続した結果、私たちの公演をみてきた世代が親になり、今度はその子供たちにお芝居を積極的にみせたいという意見が多く聞かれた。このことから、親子で楽しめる観劇会を企画するに至る。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づか等を記載してください。</p>	<p>【目指す地域・社会像】 当劇団は 1991 年に旧尾西市教育委員会主催の青年講座(手創りの演劇講座)から発足した劇団です。当初、講座の受講生は3ヶ月という短い期間で演劇の基礎から学び、最終回においては全て受講生の手創り(大道具・小道具・衣装など)で公演まで行うという画期的な講座でした。演劇を通して受講生同士の交流は勿論のこと、青年に自己表現の場を提供し共有することで、良好なコミュニケーションスキルを身につけ、自主的に情報を発信し地域を活性化するという趣旨がありました。講座終了後も、その趣旨に賛同した私たちは、意思を引継ぎ『地域に根ざした演劇活動』を行い、次世代の子供達にもその趣旨を引き継いでいくことを考えています。お芝居を観て、新しい考え方を発見したり、知識を得たり、共感して感情が揺さぶられたり、観たあとすがすがしい気分になったり、気持ちが高揚したり。特に演劇は映画と違って、生のものなので、体験もまた直接触れられるような生々しさがあります。次世代を担う子どもたちが優れた舞台芸術に触れ、感動することは、子どもたちに豊かな感性と創造性、意欲をはぐくむことにつながると考えています。</p> <p>【事業の実施による効果】 親と一緒に観に来ていた子供たちが 10 年以上たって入団したり、観客として来ていた若者達が現在私たちの仲間となり舞台に立ちました。このことから私たちの目指す方向性は間違っていないと思います。</p> <p>【地域課題】 親子演劇会を企画した一番の理由は、小さなお子様を連れての移動は大変なものです。『名古屋まで行かなくても地元で気軽に芝居を観れる!』をモットーに買い物帰りに気軽に寄れる観劇会、おじいちゃんおばあちゃんと気軽に観れる観劇会を目指します。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>【受益者負担のみで事業を行えない理由】 以前は市民講座から発足した劇団ということもあり 20 年以上すべての公演を無料で行ってきましたが、近年顧客増加に伴う会場資金などの負担などにより一般対象の公演については、有料(一般 1,000 円 小学生以上中学生以下 500 円)に移行しました。反面アンケートには未就園児対象の上演要望も多く寄せられました。そのため小さなお子様を連れて一緒に楽しめる観劇会を通してより多くの子供たちに演劇との出会いを提供したいという団員の強い希望もあり無料公演を実施したいため。</p> <p>【公金で実施する理由】 稽古や公演など、公共の会場を利用するなど、団員の負担では顧客要望に応える上演が困難なため、公益負担に相応しい事業と言える。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期(月)</p> <p>10月</p> <p>10月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<p>内 容</p> <p>舞台監督、演出の選出</p> <p>上演作品の決定</p> <p>定期稽古・上演準備</p> <p>親子観劇会 上演</p> <p>総括</p>

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 (片面印刷) とする。

備考 2 ページ数は 2 ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 劇団 織音座

事業の名称 劇団 織音座 親子観劇会

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	146,000	
事業収入	0	
自主財源	73,000	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ()
計	219,000	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	0	0
旅費	10,000	10,000
印刷製本、消耗品費	127,000	127,000
食糧費	0	0
通信費、手数料	52,000	52,000
備品費	0	0
人件費	0	0
使用料、賃借料	30,000	30,000
その他	0	0
計	219,000	219,000

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳*
	支援金算出額 (円)	
報償費	0	
	0	
旅費	10,000	借用物交通費@20×50k×10=10,000円
	10,000	
印刷製本、 消耗品費	127,000	パンフレット@40×200部=8,000円 チラシ3,000部=5,000円 ダイレクトメール@500部=5,000円 台本@300×30部=9,000円 衣装・メイク道具=40,000円 小道具作製=20,000円 大道具作製=40,000円
	127,000	
食糧費	0	
	0	
通信費、 手数料	52,000	ダイレクトメール等郵送費=28,000円 スポーツ保険@800×30人=24,000円
	52,000	
備品費※2	0	
	0	
人件費	0	
	0	
使用料、 賃借料	30,000	公演時使用会場費@15,000×2=30,000円
	30,000	
その他	0	
	0	

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを（ ）書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。